

2025 年 10 月 10 日

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)

MCPC（モバイルコンピューティング推進コンソーシアム）がスマートホームの普及加速に向け、「Matter」等の IoT 標準規格を策定する Connectivity Standards Alliance とマーケティング連携協定を締結

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム（所在地：東京都、会長：安田靖彦、以下「MCPC」）は、2025 年 10 月 10 日に IoT 標準規格「Matter」を策定する無線通信規格標準化団体 Connectivity Standards Alliance（所在地：アメリカ カリフォルニア州デイス、プレジデント兼 CEO Tobin Richardson、以下、「アライアンス」）と、日本における「Matter」などを基盤としたスマートホームの普及・啓蒙を目的としたマーケティング連携協定を締結しました。

MCPC はこれを機に、当団体における技術委員会活動のひとつとして「Home IoT 推進 WG」を立ち上げ、会員企業メンバーと共にスマートホームの普及加速に向けた活動を模索、推進していきます。

また、同 WG 活動の活性化に向け、会員企業の拡大を図って参ります。

本連携の目的と背景

日本におけるスマートホーム普及加速に向けては、利便性の追求（日常生活での具体的なメリット）、ユーザビリティの改善（スマホをコントローラとした操作性向上）、共通規格の普及が鍵となります。

通信事業者を中心とした MCPC 会員企業様と共に非競争領域での課題を抽出し MCPC としての提供価値を模索、創出して参ります。

また、スマートホームは、モバイル端末や IoT デバイスを活用した生活支援インフラとして、社会的課題の解決に貢献する可能性を有していますが、現状ではメーカーごとのアプリ設定や認証方式の違いにより、ユーザーが複数のアカウントや接続設定を個別に行う必要があり、導入障壁が高い状況です。

アライアンスが策定する「Matter」は、異なるメーカー間の相互運用性を確保し、設定の簡素化とセキュリティの標準化を実現することで、スマートホームの導入・運用の利便性を大幅に向上させることが期待されています。

モバイル社会におけるスマートホームの価値

MCPC が推進するモバイル／IoT／AI 技術の利活用と標準化活動において、スマートホームは重要な柱の一つです。スマートフォンの普及率が 97%（NTT ドコモ モバイル社会研究所調査）に達する現在、OS レベルで Matter をサポートする環境が整っており、ユーザーはメーカーを問わず、容易にスマートホーム機器や住宅設備と連携できるようになっています。

また、住宅・不動産業界では、スマートホーム機器の導入が物件価値の向上や国の補助事業との連携に寄与しており、介護・物流・医療などの分野でも、スマートデバイスとの連携によるサービス品質向上が期待されています。

グローバル標準との連携強化

アライアンスは、800 社以上のグローバルテクノロジー企業で構成される国際標準化団体であり、IoT 分野におけるオープンな標準規格の策定と普及を推進しています。2024 年にはアライアンスの [日本支部](#) が設立され、日本市場における **Matter** の認知向上と実装支援を本格化させています。MCPC は、アライアンスとの連携を通じて、国内のスマートホーム関連企業・団体との協調を図りながら、標準規格の普及啓発、人材育成、ユースケースの創出を加速させます。

「MCPC と協力し、アライアンスおよびその日本支部は、日本における **Matter** 対応スマートホームの認知度と普及を促進していきます。グローバルな相互運用性を推進することで、ユーザーがシームレスで安全かつアクセスしやすいスマートホーム体験を享受できるよう支援してまいります。」と、アライアンス プレジデント兼 CEO の Tobin Richardson 氏は述べています。

MCPC 技術委員会 Home IoT 推進 WG 主査の小熊氏は、次のように述べています。「スマートホームは、ユーザーが日常生活の中で最も頻繁に IoT 技術の利便性を実感できる環境の一つです。日本ではスマートフォンの普及率が 97% に達している一方で、スマートホームの普及率は 13%（リビングテック協会ネットリサーチ 2023）にとどまっており、スマートホーム市場は今後の成長が期待される分野と捉えています。」

「近年では「**Matter**」などのオープンな標準規格の策定が進み、スマートフォンへの対応も拡充されつつあります。ユーザーにとって馴染み深いスマートフォンは、家庭内でも外出先からでもスマートホーム機器を操作できる主要なデバイスとして、ますます重要な役割を担っています。MCPC では、スマートホームに関するサービス提供上の課題解決やユーザーへのプロモーション活動を通じて、スマートホームの普及促進に貢献してまいります。」

以上

リリース文 pdf はこちらです。



< https://www.mcpc-jp.org/press/pdf/press_20251010.pdf >

MCPC について

MCPC（モバイルコンピューティング推進コンソーシアム 会長：安田 靖彦）は、業界の枠を超えてモバイルコンピューティングを普及促進することを目的とし、1997年に発足した任意業界団体です。スマートフォン等のUSB充電インタフェース安全設計ガイドラインおよび、モバイル機器安全設計ガイドライン、端末インタフェースガイドライン、Bluetooth関連ガイドラインなど多数の標準化作業をはじめ、「IoTシステム技術検定」、「モバイルシステム技術検定」、「ワイヤレスIoTプランナー検定」、「ローカル5G実践研修講座」などを通して、モバイル、IoT/AIの普及拡大に貢献しております。

MCPC 加盟企業・団体 162 社(2025年9月1日現在) <http://www.mcpc-jp.org>
「本件に対する問合せ先」

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム(MCPC)事務局
所在地：〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-12 長谷川グリービル 2F
電話：03-5401-1935
E-Mail: office@mcpc-jp.org

Connectivity Standards Alliance について

Connectivity Standards Alliance は、モノのインターネット（IoT）の基盤であり、その未来を形づくる存在です。2002年の設立以来、世界中の幅広い会員企業が協力し、私たちの暮らし・働き方・ライフスタイルを変革する製品のために、普遍的でオープンな標準規格の策定と進化に取り組んでいます。

CSA は、メンバーが持つ多様な専門知識と、堅牢な認証プログラム、そして包括的なオープンIoTソリューション群を活用し、より直感的で、創造的かつ便利な世界の実現をリードしています。

Connectivity Standards Alliance の取締役会は、[Allegion](#), [Amazon](#), [Apple](#), [ASSA ABLOY](#), [Bosch](#), [Comcast](#), [Espressif](#), [Eve by ABB](#), [Fortune Brands](#), [Google](#), [Haier](#), [Huawei](#), [IKEA](#), [Infineon Technologies AG](#), [LEEDARSON](#), [Legrand](#), [LG Electronics](#), [Lutron Electronics](#), [Midea](#), [Nordic Semiconductor](#), [NXP Semiconductors](#), [OPPO](#), [Resideo Technologies](#), [Samsung Electronics](#), [Schneider Electric](#), [Siemens](#), [Signify \(Philips Hue and WiZ\)](#), [Silicon Labs](#), [Somfy](#), [STMicroelectronics](#), [Tuya](#), [Verizon](#) の各社のエグゼクティブで構成されています。

アライアンスの詳細については www.csa-iot.org をご覧ください。また、[X](#)、[Facebook](#)、[LinkedIn](#) でフォローをお願いします。